



鈴木まもる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

不登校公立高校生2851人 20年度内 県

いじめめ転校に柔軟対応を

万葉の世からの古い歴史に育まれた市川市で、親子二代にわたって政治活動に打ち込んでいる鈴木衛(すずき・まもる)市川市選出、一期)県議は六月県議会で一般質問に立ち、県政の課題、懸案への対策や方針を知らずに質問しました。特に教育は国家百年の大計と、県教育庁に様々な質問を行ったなかで、いじめなどで不登校となった高校生徒の転校に柔軟な対応を求めました。鈴木議員の質問と知事や県教育長らの答弁を特集します

市川市特集 6月県議会一般質問

鈴木議員 教育は国家百年の大計と言われており、国力を上げるには教育は欠かせない。それにもかかわらず、わが国の教育機関に

対する公費支出の割合をGDP比で見ると、3・4%で、経済協力開発機構に加盟するデータ比較が可能な二十八カ国の中で最下位に

なっている。我が国の将来を考えると、子ども達により良い教育環境の提供が現在、最も求められている。そこで、教育行政について



6月県議会で登壇し、一般質問を行なう鈴木衛県議

どうか。いじめが原因で不登校になっている高校生のために、転校について柔軟な対応をするべきだが、まず、公立高校での不登校生徒がどれくらいおり、その中で退学する生徒が何名くらいいるのか。

教育長 本県における平成二十年度の公立高校の不登校生徒数は、全日制二千三百三十名、定時制五百二十一名で合計二千八百五十二名となっております。

その中で、中途退学をした生徒数は全日制七百二十七名、定時制百六十五名の合計八百九十二名となっております。全不登校生徒数に対する割合は31・3%となっております。

鈴木議員 いじめなどの緊急を要する場合の転校希望に対し、公立高校ではどのように対応しているのか。

教育長 いじめや、これに伴う不登校生徒への対応など、緊急的な配慮が必要な場合、各高校の校長の判断により転入学試験を実施して転校を認めることもあり、平成二十一年度においては、三校で実施し、八名を受け入れたところです。

今後とも、県教育委員会では、各公立高校に対して、定員の範囲などを考慮しながら、可能な限り転入学試験を実施し、転校できるような弾力的運用を求めています。

要望 不登校生徒が転校を希望する場合、生徒本人及び保護者から、状況を聞き、十分に聞き、より柔軟な対応をお願いしたい。

現実には、定員がネックとなり、なかなか再復帰するチャンスに遭遇できない場合がある。で、何とかひとつ工夫して柔軟な対応をしていただきたい。

武道必修化による教材整備を円滑に

鈴木議員 中学校の学習指導要領で武道が必修となるが、県は、市町村の武道の用具などの整備に関わる予算に対して、補助金などを支出する考えはないか。

教育長 国におきましては、平成二十四年度から中学校の新学習指導要領の全面実施に向けて、円滑かつ安全に進みますよう、平成二十一年度から二十三年度までの三カ年に限定して、武道を含む教材・教具を整備するために必要な経費については全て地方交付税で財源措置しております。

県としては、この交付税を積極的に活用して

要望

鈴木議員 武道必修化に伴う経費については、交付税によるところの考えであるが、県内の同じ中学生が学習する中で、自治体の財政力格差によって、武道の必修化に影響があつてはならないと考える。

県教育庁としても、検討できることは、是非検討するよう要望します。

鈴木まもる県議プロフィール

略歴

- 昭和26年 市川市若宮生まれ
- 私立市川高校卒業
- 専修大学文学部中退
- 市川市議会議員(4期)
- 第56代市川市議会議長
- 平成19年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 千葉県 水道事業運営審議会委員
- 市川交通安全協会会長
- 市川市サッカー協会会長
- 市川市少年野球リーグ会長
- 市川商工会議所参与
- 市川市観光協会副会長
- 市川食品衛生協会顧問

都市づくり、地域づくりのご意見、ご提言をお寄せください。

鈴木まもる 県議事務所 〒272-0021 市川市八幡3-29-20 秋葉ビル3F
TEL047-333-6000 FAX047-322-3232

鈴木まもるホームページ http://www.suzukimamoru.com

航難取得の用地 も延長期間事業

線宮若高鬼道画計都市

鈴木議員 道路行政についてだが、市川都市計画道路3・5・26号鬼高若宮線(木下街道)の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 市川都市計画道路3・5・26号鬼高若宮線については、東京外かく環状道路の関連事業の一つとして、市川市内の交通渋滞の緩和を図るため、現在、京成電鉄本線と交差する鬼越第六台踏切の立体交差事業を進めています。



県議会議場の自席で再質問を行なう鈴木衛県議

れるよう用地の取得を積極的に進めてまいります。

今後、市川市や地元関係者の協力を得ながら、東京外かく環状道路の完成を目途に、事業推進を努めてまいります。

再質問

鈴木議員 踏切の切廻し道路部の地権者で公簿と実際の面積の違いにより、交渉協議が困難を期しているとのことですが、現在の事業認可、平成二十四年度までと外かんの完成との関係を県としてどのように考えているか示していただきたい。

県土整備部長 鬼高若宮線は、平成二十四年度まで

先地八幡市川市柏線市川道 レーン折右へ防止事故

の事業認可となっておりませんが、現在の用地取得の現況などをみると見直しが必要でないかと思っております。

地元の方々のご協力を得まして、外かんの完成を目途に整備を進めてまいります。

鈴木議員 県道市川柏線市川市八幡地先の歩道整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県道市川柏線市川市八幡地先の歩道整備の進捗状況と今後の見通しはどうか、とのこと質問ですが、県道市川柏線市川市八幡地先については、交

通量が多く、近接する二つの市道交差点に右折レーンがないことから、交通事故が多発しております。このため県では、平成九年度に、右折レーンの設置や歩道整備に着手し、昨年度までに、約四割の用地を取得するとともに、併せて工事を進めてきたところで

す。引き続き地元のご理解ご協力を得ながら、東京外かく環状道路の開通に大きく遅れることのないよう、事業を推進してまいります。

状道路の供用開始の交通渋滞に及ぼす影響が大きいことから、交差点改良については右折レーンが交通渋滞の解消になると思う。用地買収の時期もあると思うが、東京外かく環状道路の完成に着目して整備を進めていただくよう要望する。

設施設高北川市合統編再

議協開放への市民



鈴木議員 県立市川北高等学校跡地利用について、現在、市川市との協議はどのように進んでいるのか。教育長 県立高など学校

の再編統合の市川北高校を視察する鈴木衛県議

再編計画により統合する市川北高校の跡施設については、葛南地域の特別支援学校児童生徒の増加対策のため、市川特別支援学校の分校として整備することとしております。

この市川北高校跡施設について、市川市から、これまで施設の譲渡や市民の有効活用などが要望されており、さらに、今月四日には、市長から運動施設の開放などの要望書が出されたところです。

当該施設は、県や地域にとつて貴重な財産であることから、市川市からの要望を踏まえ、開設後の特別支援学校分校の教育活動に支障がない範囲での施設開放などについて、引き続き市川市と協議を進めてまいります。

再質問

鈴木議員 市川市からの要望にこたえてもらいたいと思う。教育長 具体的には、こ

れからの協議になりますが、特別支援学校分校としての活用を前提として、要望の主旨を十分踏まえて協議してまいります。

を並木サクラに池節調

川分川の市川

鈴木議員

市川市国分地域において、国分川の治水事業として進められている国分川調節池にサクラ並木を整備できないか。

知事 国分川調節池の上部利用については、本年一月に、市川市民で構成された「国分川調節池を育む会」と市川市の協働により基本計画が策定され、現在、利用に関する運営や管理方法について検討が行われています。

サクラなどの植栽については、調節池の機能に支障がない範囲で可能と考えており、「国分川調節池を育む会」及び市川市において、その種類や位置について検討された上で実施されることとなります。

今後とも、都市の貴重なオープンスペースである国分川調節池が、地域の人々が集い憩える場となるよう、地元住民及び市川市と話を進めてまいります。

鈴木県議 地元住民と市川市がサクラ並木を整備するに当たり、県としてもいろいろな面で支援願いたい。

6月県議会一般質問
生活から見る
鈴木まもるの県議